

活 動 報 告 書

1 団体名

Co Learners

2 活動内容

小・中学校に在籍する言語的・文化的に多様な背景を持つ子どもたちと共に学び合える工夫や仕掛けをしていくことで、子どもたちの異文化理解を促進し、学校全体をインクルーシブな教育環境にしていくことを目指して

- ・小・中学校に CoLearners(共同の学習者)として入り、言語的・文化的に多様な背景を持つ子どもたちの学習と交友関係づくりのサポート
- ・学校内で異文化理解のイベントの企画、実施
(国際まつりや総合の時間を活用したワークショップ等)

3 活動期間

2024 年 7 月 4 日から 2025 年 2 月 28 日まで

4 活動実施内容

通年

1 週間に 1 度、別府市内の小学校において日本語指導の必要な子どもたちに対して、授業への入り込みサポートを行った。

2024 年 7 月 国際まつり

日本語指導の必要な児童生徒を含む当該学校の児童生徒に対して、異文化理解を促進する取り組みを実施。

2024 年 8 月 夏休み宿題サポート教室 APU プラザ

2024 年 9 月 多言語スピーチ会 APU プラザ

言語的・文化的に多様な背景を持つ子どもたちがそれぞれの言語でスピーチをする大会を実施。

2024 年 10 月 運動会サポート 別府中央小学校

2024 年 12 月 多国籍綱引き大会開催 APU 体育館

2025 年 2 月 国際まつり

7 月同様の取り組み、もしくはさらに発展させた取り組みを行った。

5 活動の成果

教室への入り込みサポート

定量的な成果は測れていません。しかし、入り込みサポートを継続していたことにより、サポート対象でない日本人児童とも良い関係性を築くことができました。日本人との関係性を築くことは、学生が不在の際に対象児童が孤立することを防止することにつながります。さらに、学生がサポートに入った際に、不在時の対象児童の様子を、日本人児童の目線で知ることができるようになりました。

国際まつり（スマイルワールドフェスティバル）

今年度は別府中央小学校で国際まつりを開催しました。毎回、国際まつりの後に回収しているアンケートでは、全 143 件の回答のうち、90.8%の児童が「楽しかった・とても楽しかった」と答えています。

国際まつりでは、クイズやゲーム等、児童たちの好奇心を掻き立てられるような企画をしています。その中の 1 つに「世界の言葉でこんにちは」というゲームがあります。児童たちはそのゲーム内で、使用できる言葉があらかじめ指定されます。子どもたちが使用できる言葉の振り分けは、概ね世界で使用されている言葉の人口比率に準じています。したがって、例えば 50 人ほどでゲームをした場合、日本語を指定される児童は 1～2 名になります。このゲームでは、普段圧倒的に多数派である日本語話者が、突然少数派になるという、まさに海外で私たち日本人が経験する状況を体験することになります。児童たちはこの経験を通して、クラスの外国人児童の気持ちをより身近に感じることができるようになります。アンケートの自由回答欄でも、そのような感想がいくつか見られました。

このように、国際まつりを通して小学生の異文化間能力を育むことに貢献できたのではないかと考えます。

多国籍綱引き大会

当初の計画書にはありませんでしたが、対象を 1 つの小学校に限定せず、多くの方に広報をして多国籍綱引き大会を実施しました。

当初の目標は、参加者の国籍が 51 カ国以上でギネス世界記録を更新することでしたが、それは達成できませんでした。しかし、当日は総勢 60 名、国籍数 15 カ国もの方々に参加していただきました。また、イベントの開催にあたり、大分県綱引き連盟や本補助金の担当者様にも、ご協力いただきました。綱引きを通して、言語の壁を越えたコミュニケーションを取ることができたのではないかと思います。

6 反省点や今後の目標

反省点は大きく 2 点あります。1 点目は、活動自体の認知度を十分に上げることができなかった点です。認知度の低さもあり、イベントにも思うように人が集まらず、活動メンバーも十分に増やすことができませんでした。2 点目は、さまざまな活動で準備不足があった点です。国際まつりでは、児童のアンケート回答時の教室での様子を十分にシミュレーション出来ておらず、担任の先生にご迷惑をおかけしてしまうことがありました。また、イベント開催にあたっては、実現しようとしていることの規模に対して準備期間が短く、当初の目標を達成することができませんでした。

以上の反省点を踏まえて、今後は、大学・地域及び SNS での広報を積極的に行っていくことと、目標から逆算した準備を十分に行うことを徹底していきたいと思います。